



2020年2月6日

各 位

会 社 名 株式会社アイロムグループ
代 表 者 名 代表取締役社長 森 豊隆
(コード番号 2372 東証第一部)
問 合 せ 先
役 職 取締役 社長室担当
氏 名 小島 修一
電 話 03-3264-3148

当社子会社による復旦大学附属上海公衆衛生臨床センターとの 新型コロナウイルスに対する新規ワクチンの共同開発合意のお知らせ

当社の100%子会社である株式会社IDファーマ（以下、「IDファーマ」という）が、新型コロナウイルスの感染予防と治療を目的として、復旦大学附属上海公衆衛生臨床センター（以下、「上海公衆衛生臨床センター」という）と、新型コロナウイルスに対する新しいワクチンを共同開発することについて合意しましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 合意の概要

IDファーマは、IDファーマが基盤技術として保有するセンダイウイルスベクターを用いて、新型コロナウイルスの感染予防と治療を目的とした新しいワクチンを、上海公衆衛生臨床センターと共同開発することといたしました。

2. 契約の意義

中国武漢を中心に発生した新型コロナウイルスの流行により、新型コロナウイルス関連の肺炎患者は日本国内で19例、日本国外で24,516例（2020年2月5日厚生労働省「新型コロナウイルス感染症の現在の状況と厚生労働省の対応について（令和2年2月5日版）」）にのぼり、死亡者も多数でており、新型コロナウイルスに対する抗ウイルス薬やワクチンの開発が急がれています。

IDファーマと上海公衆衛生臨床センターは、センダイウイルスベクターを用いた結核ワクチンの共同開発を進めており、この度、その共同開発経験を活かし、新型コロナウイルスに対する新しいワクチンの研究・開発を行うことといたしました。

医薬品開発には一般的に相当の期間を必要としますので、将来のワクチン製造を目指してまいります。

3. 共同開発先について

上海公衆衛生臨床センターの概要は次のとおりです。

名 称	復旦大学附属上海公衆衛生臨床センター
所 在 地	中華人民共和国上海市
設 立	1914年

上海公衆衛生臨床センターは、多数の研究機関を持つ復旦大学の附属病院であり、660床の総合病院です。高度な研究チームと包括的な科学研究のプラットフォームを持ち、中国医学科学院が実施する中国国内の影響評価で、2016年に感染症分野において3位に評価されるなど、非常に高い科学技術を有しています。

4. 今後の見通し

本共同開発について費用分担等の詳細は今後協議となりますが、本合意による2020年3月期の業績への影響は軽微であります。また、来期以降の業績に影響が生じる場合や本共同開発に進捗がありましたら必要に応じて速やかにお知らせいたします。

以 上